

「事業名：公・民・学共創による持続可能まちづくりを通じた復興知人材育成

東京大学 連携市町村：新地町

連携市町村との協定締結日：平成30年6月3日

現地拠点：相馬郡新地町駅前1丁目5番地 観海プラザA棟1階 新地アーバンデザインセンター（UDCLしんち）

事業のポイント

福島県新地町において、次世代の学びの基盤創出、地域活動の実践型演習、大学の知の集積と地域への還元、それらを統合した持続可能まちづくりを、現地拠点UDCLしんちを活用して公・民・学共創により実践する。これにより、復興の状況や内外の社会情勢の変化に順応し、創造的にまちづくりに貢献する復興知人材を育成する。

人材育成目標

本事業では今年度、次のような復興知人材を育成することを目標とする：① 学校の地域学習に大学の持つ知的資源を融合させた授業の受講をとおして、地域への当事者意識を醸成し、高校卒業後も地域と主体的に関わることのできる中高生世代の育成、②地域の関係人口として、時間の経過とともに変化する地域の復興状況や、地域の人的心情や意向を丁寧に理解するという地域に関わる観点を習得し、それを実践することができる大学（院）生の育成、③町の未来を見据えた地域づくりや人づくりにかかる活動を、主体的に企画ならびに実践できる地域住民の育成

2023年度の活動内容

- ①新地町の次世代をになう子どもたちのための学びの基盤を地域の関係組織や住民と共創し、新地校舎閉鎖後の中高生の学びの空間としての公営塾の開設に向けた協議に着手する。
- ②UDCLしんちの組織化と現地駐在員の配置を推進し、自走化に向けた体制の整備を行う。まちづくり懇談会や地域交流イベント、成果発表会等の開催を通じて、地域との連携体制を強化するとともに、町民に開かれた拠点を形成する。UDCLしんちを活用した研究教育活動を継続する。
- ③地域住民と大学（院）生に社会課題を解決するための地域活動の実践の場を提供し、内発的にまちづくりに取り組み、持続可能な新地町の発展に資する人材の育成を継続する。

取り組みによって得られる成果

- ・新地町の次世代を育成する特色あるプラットフォームが地域との共創により実現する
- ・現地拠点UDCLしんちが組織化され、事業終了後の自走化に向けた連携体制が構築される
- ・現地拠点UDCLしんちがまちづくり拠点として有機的に機能し、地域活性化に貢献する

